

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 23日		～ 令和8年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 23日		～ 令和8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	13	(回答数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	評価、分析	モニタリング実施1か月前に再度利用者全員の評価を実施し、現在の能力を確認しています。また、介入時に常に再評価を行ない介入方法に問題がないか検討しています。	全スタッフがボトムアップの考え方で評価を実施し、療育プログラムに繋げるよう努めています。毎日、朝の申し送りや夕方のフィードバックにて情報を共有していきます。
2	療育内容	個別、集団ともに1人1人活動に対しての目的を明確化して同じ取り組みでも目的を変化させ、個別性を引き出しています。制作では年代ごとに課題の内容を分けて取り組むことができるよう配慮しています。	集団活動、製作活動は1週間単位で変更しています。その取り組みを可能にするために前の月に全スタッフから提案していただき、目的や課題設定等を話し合うことが出来るよう努めています。
3	個別支援計画、専門的支援実施計画	保護者様とモニタリングを実施する前にスタッフ間で次の目標を話し合いいくつか候補を挙げています。モニタリング時に保護者様と面談してニーズを確認したうえで最終的に目標を決定するためより詳細な目標設定が可能となっています。	多職種(PT,OT、保育士、ST等)在職している特徴を生かし、様々な観点から介入方法を検討できるよう努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアトレが充実していない。	中間面談を実施し、保護者様に現在の療育経過の報告と今後の課題を共有する時間を設けているが、希望制であるため全保護者に対して実施することができていない。	オンライン、オフラインでの研修会や休みの日を活用してのペアトレを検討しています。
2			
3			